

地雷除去と地域復興支援活動

(日本政府及びコマツの支援を受けた JMAS・CMAC 共同事業)

5 周年祝賀式典における黒宮参事官スピーチ

2013 年 6 月 3 日 (月) 於：バットンバン州ラタナック・モンドル地区

プライッ・チャン ソー・ケン副首相代理兼バットンバン州知事閣下、
ヘン・ラタナ カンボジア地雷除去センター (CMAC) 長官閣下、
野路國夫 コマツ代表取締役兼 CEO、
野中光男 日本地雷処理を支援する会 (JMAS) 理事長、
サウ サメット ラタナック モンドル郡知事、
ご列席の皆様、

本日は、プライッ・チャン ソー・ケン副首相代理兼バットンバン州知事閣下ご臨席の下、CMAC と JMAS の共同事業である「地雷除去と地域復興支援活動」の 5 周年祝賀式典にご招待いただきまして、誠にありがとうございます。まず初めに本日の式典を準備頂きました関係者の皆様に対し感謝申し上げたいと思います。

本年 2013 年は、日本とカンボジアの外交関係が樹立された 1953 年からちょうど 60 周年に当たる特別な年であり、日本とカンボジアの友好関係をさらに発展させていきたいと考えております。

皆様ご承知のとおり、カンボジアでは、長年の内戦により、北西部を中心として未だに 400 万個を超える地雷が埋設されていると言われております。カンボジアの発展にとって、地雷や不発弾の存在は大きな阻害要因であり、社会・経済インフラの整備及び農業・農村開発を進めていく上でこれらを除去することは不可欠なプロセスです。

このような状況の下、JMAS カンボジアは 2002 年より、我が国の ODA スキームである NGO 連携無償資金協力を活用し、CMAC と協力しながら、プレイベーン州における不発弾処理事業を皮切りに、これまで 13 州を対象に活動を展開してきております。10 年間の活動に

より、JMASは不発弾及び地雷の除去、さらにはCMACへの技術移転など多くの実績を残し、カンボジアの平和構築に大きく貢献してきたと承知しております。

また、コマツ様におかれましては、2008年からJMASに対人地雷除去機を無償で供与するなど、JMASと協力・連携して地雷除去から地域振興に至るまでの社会貢献活動を実施しておられると聞いており、これまでの活動に敬意を表します。

このように官・民・NGOが連携し、オールジャパンとしてカンボジアの重要課題である地雷除去と地域振興のために取り組めてきたことは、日本国大使館としても大変嬉しく思います。

今回のプロジェクトでは、バタンバン州ラタナック・モンドル地区を対象に、458ヘクタールの土地が地雷から開放されるとともに、20キロメートルの農道、4つの小学校及び30のコンクリートカルバートが建設されました。地雷除去から除去された後の土地の活用に至るまでの総合的な支援活動を実施することで、地域住民の経済社会活動の促進に大きく貢献するものと考えられます。

カンボジア政府はオタワ条約の延長に基づき、2019年を期限とした対人地雷の完全除去を目指し、地雷除去活動の一層の推進に努力しています。日本政府は、1992年以来120億円を超える地雷除去支援を実施してきていますが、カンボジアの目標達成のために、今後も引き続きCMACを通じた多様な支援を行っていく所存です。

最後になりましたが、過酷な作業環境の中、カンボジアの地雷除去活動に携わってこられた方々に敬意を表するとともに、JMAS及びコマツ様の地雷除去活動が対象地域の住民に高い裨益効果をもたらし、カンボジアと日本の更なる友好関係の促進につながることを祈念したいと思います。

ご静聴ありがとうございました。